

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|----------------------------|---|---|----------------|------------|------------|
| <p>国県道等の整備について (1)</p> | <p>滝沢市の道路は、国道4号、国道46号、国道282号を始め、主要地方道盛岡環状線、一般県道盛岡滝沢線、一般県道鶴飼滝沢線など国道3路線、県道7路線が走っています。このほか、東北縦貫自動車道滝沢インターチェンジや滝沢分レなど道路の要所が存在しています。</p> <p>この中でも、市内道路網の最も重要な主要地方道盛岡環状線の国道46号・滝沢分レ間は、盛岡市の市街地を避け青森、鹿角方面から滝沢分レを経由し、国道46号を秋田方面や北陸を経由し関西へ相互に連絡する大型車が多く、生活道路として、また物流にとっても重要な区間となっています。</p> <p>現在、日交通量約2万台の車両が行き交い、大型車の混入率が20%を超え、県内における大型車混入率が最も高い区間の一つになっています。このような状況にあって、旧規格の狭い道路幅員では交通安全上、非常に危険な状況であり、児童生徒や高齢者の交通安全の確保が危惧されています。</p> <p>このことから、交通量調査などを実施し現状把握に努め、ミニバイパスなど斬新かつ具体的な構想の確立と整備の方向性を示していただきたいと考えています。</p> <p>また、岩手山火山災害を想定した場合など、日常的に混雑している区間については緊急避難路としての機能が発揮されることが期待できないことから早急な改善が必要です。</p> <p>さらに、県都の玄関口として、滝沢市内の国県道の整備は、県北地域の住民にとっても重要な課題となっていることから、主要地方道盛岡環状線や国道4号バイパスの渋滞緩和に繋がる、盛岡西廻り北バイパスの計画の具体化に向けた検討が必要であると考えています。</p> <p>以上のことを踏まえ、次のとおり要望します。</p> | <p><要望事項1></p> <p>(1) 主要地方道盛岡環状線木賊川交差点からふるさと交流館までの未整備区間の拡幅改良については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。(C)</p> <p>(2) 都)下鶴飼御庭田線・都)上堂鶴飼線八人打地区(滝沢村商工会館前交差点から東側の未整備区間)の整備については、隣接する下鶴飼交差点付近において、平成25年度から道路改良事業に着手したところであり、今後、要望区間の整備についても、交通量や沿道環境を考慮しながら、県全体の道路整備計画の中で検討していきます。(C)</p> <p>(3) 主要地方道盛岡環状線鶴飼～大沢～篠木地区(滝沢村商工会館交差点から篠木小入口交差点間)については、篠木小入口交差点において、平成25年度に事業着手し、昨年度から改良工事に着手しています。今年度は、年度内の完成を目指し工事の推進を図っていきます。(B)</p> <p>その他の区間については、事業中の箇所を進捗や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。(C)</p> <p>(4) 主要地方道盛岡環状線盛岡市境岩姫橋～野沢地区歩道設置及び岩姫橋の架け替えについては、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。(C)</p> | <p>盛岡広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>B、C</p> |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|------|---|----------|------|-------|------|
| | <p>[要望事項]</p> <p>1 主要地方道盛岡環状線は、地域住民にとって日常生活に欠かせない重要な生活道路であり、また、災害時の緊急避難路としても重要な役割を担っていることから、盛岡市境の岩姫橋から国道46号までの滝沢市内については、区間を区切り、その区間にあった改善方法による渋滞対策や安全対策を講じ、場合によってはミニバイパスなどの大胆な発想による改良などを具体的に検討し、事業実施されたい。</p> <p>また、2 順目国体の開催に当たり、サッカー女子競技会場となる滝沢総合公園陸上競技場へアクセスする一般県道盛岡滝沢線（都）下鶉飼御庭田線・都）上堂鶉飼線）の八人打地区について事業化されたい。</p> <p><要望箇所></p> <p>(1) 渋滞対策が必要な木賊川交差点からふるさと交流館までの未整備区間の拡幅改良</p> <p>(2) 都）下鶉飼御庭田線・都）上堂鶉飼線八人打地区（滝沢市商工会館前交差点から市街化区域内）の事業化</p> <p>(3) 主要地方道盛岡環状線鶉飼～大沢～篠木地区（滝沢市商工会館交差点から篠木地区交差点間）の未整備区間の拡幅改良</p> <p>(4) 主要地方道盛岡環状線盛岡市境岩姫橋～野沢地区歩道設置及び岩姫橋の掛け替え</p> | | | | |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|----------------------------|---|---|----------------|------------|----------|
| <p>国県道等の整備について (2)</p> | <p>滝沢市の道路は、国道4号、国道46号、国道282号を始め、主要地方道盛岡環状線、一般県道盛岡滝沢線、一般県道鶴飼滝沢線など国道3路線、県道7路線が走っています。このほか、東北縦貫自動車道滝沢インターチェンジや滝沢分レなど道路の要所が存在しています。</p> <p>この中でも、市内道路網の最も重要な主要地方道盛岡環状線の国道46号・滝沢分レ間は、盛岡市の市街地を避け青森、鹿角方面から滝沢分レを経由し、国道46号を秋田方面や北陸を経由し関西へ相互に連絡する大型車が多く、生活道路として、また物流にとっても重要な区間となっています。</p> <p>現在、日交通量約2万台の車両が行き交い、大型車の混入率が20%を超え、県内における大型車混入率が最も高い区間の一つになっています。このような状況にあって、旧規格の狭い道路幅員では交通安全上、非常に危険な状況であり、児童生徒や高齢者の交通安全の確保が危惧されています。</p> <p>このことから、交通量調査などを実施し現状把握に努め、ミニバイパスなど斬新かつ具体的な構想の確立と整備の方向性を示していただきたいと考えています。</p> <p>また、岩手山火山災害を想定した場合など、日常的に混雑している区間については緊急避難路としての機能が発揮されることが期待できないことから早急な改善が必要です。</p> <p>さらに、県都の玄関口として、滝沢市内の国県道の整備は、県北地域の住民にとっても重要な課題となっていることから、主要地方道盛岡環状線や国道4号バイパスの渋滞緩和に繋がる、盛岡西廻り北バイパスの計画の具体化に向けた検討が必要であると考えています。</p> <p>以上のことを踏まえ、次のとおり要望します。</p> | <p><要望事項2></p> <p>(1) 国道282号一本木バイパスについては、平成22年11月11日に一本木地区の人家連担部を迂回する北側約2.8kmの区間について供用開始を行ったところです。残りの区間については一部用地協力が得られていないことから、供用にはなお時間を要する見込みですが、引き続き地権者のご理解が得られるよう努めていきます。</p> <p>(2) 主要地方道盛岡環状線野沢地区の歩道整備については、いわて銀河鉄道株式会社（IGR）と横断函渠部施工の協定を締結し、平成24年度に工事着手しています。</p> <p>横断函渠部は、平成27年10月には工事を完成する予定であり、引き続き早期の事業完成に努めていきます。</p> <p>(3) 主要地方道盛岡環状線中鶴飼地区の道路改良については、平成25年度に事業着手し、今年度は用地補償手続きを進め、付替え水路及び市役所北側の交差点改良の工事に着手しています。今後とも貴市と連携を図りながら事業用地の確保を進め、整備推進に努めていきます。</p> | <p>盛岡広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>B</p> |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|------|--|---|------|-------|------|
| | <p>2 国道282号一本木バイパス、主要地方道盛岡環状線や一般県道 盛岡滝沢線（都）上堂鶉飼線）の事業化されている箇所の事業を 促進されたい。</p> <p><要望箇所></p> <p>(1) 国道282号一本木バイパスの早期完成 (2) 主要地方道盛岡環状線野沢地区の早期完成 (3) 主要地方道盛岡環状線中鶉飼地区の早期完成 (4) 主要地方道盛岡環状線篠木地区の早期完成 (5) 都）上堂鶉飼線（諸葛地区）の早期完成 (6) （一）盛岡滝沢線下鶉飼地区の早期完成</p> | <p>(4) 主要地方道盛岡環状線篠木地区の道路改良については、平成25年度に事業着手し、昨年度から改良工事に着手しています。今年度は年度内の完成を目指し工事の推進を図っていきます。</p> <p>(5) 都）上堂鶉飼線（諸葛地区）の早期完成 盛岡滝沢線（都市計画道上堂鶉飼線）の諸葛橋から一本柳交差点までの区間については、平成21年度完成供用したところです。残りの一本柳交差点から東北自動車道東側までの区間については、引き続き事業を進めることとしており、今年度は用地補償手続きを進めるとともに、改良工事を進め、整備推進に努めていきます。</p> <p>(6) 一般県道盛岡滝沢線下鶉飼地区の道路改良については、平成25年度に事業着手し、今年度は用地補償を進め、交差点改良に着手する予定です。今後とも貴市と連携を図りながら事業用地の確保を進め、整備推進に努めていきます。</p> | | | |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|---------------------------|---|---|----------------|------------|----------|
| <p>国県道の整備について (3)</p> | <p>滝沢市の道路は、国道4号、国道46号、国道282号を始め、主要地方道盛岡環状線、一般県道盛岡滝沢線、一般県道鶴飼滝沢線など国道3路線、県道7路線が走っています。このほか、東北縦貫自動車道滝沢インターチェンジや滝沢分レなど道路の要所が存在しています。</p> <p>この中でも、市内道路網の最も重要な主要地方道盛岡環状線の国道46号・滝沢分レ間は、盛岡市の市街地を避け青森、鹿角方面から滝沢分レを経由し、国道46号を秋田方面や北陸を経由し関西へ相互に連絡する大型車が多く、生活道路として、また物流にとっても重要な区間となっています。</p> <p>現在、日交通量約2万台の車両が行き交い、大型車の混入率が20%を超え、県内における大型車混入率が最も高い区間の一つになっています。このような状況にあつて、旧規格の狭い道路幅員では交通安全上、非常に危険な状況であり、児童生徒や高齢者の交通安全の確保が危惧されています。</p> <p>このことから、交通量調査などを実施し現状把握に努め、ミニバイパスなど斬新かつ具体的な構想の確立と整備の方向性を示していただきたいと考えています。</p> <p>また、岩手山火山災害を想定した場合など、日常的に混雑している区間については緊急避難路としての機能が発揮されることが期待できないことから早急な改善が必要です。</p> <p>さらに、県都の玄関口として、滝沢市内の国県道の整備は、県北地域の住民にとっても重要な課題となっていることから、主要地方道盛岡環状線や国道4号バイパスの渋滞緩和に繋がる、盛岡西廻り北バイパスの計画の具体化に向けた検討が必要であると考えています。</p> <p>以上のことを踏まえ、次のとおり要望します。</p> <p>3 菓子駅開設に伴い接続市道を県道に昇格されたい。 <要望箇所> (1) 国道4号～菓子駅間 約2,200m</p> | <p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定要件を具備する必要があるとあり、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断した上で行うこととしています。</p> | <p>盛岡広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>C</p> |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|----------------------------|--|--|----------------|------------|----------|
| <p>国県道等の整備について (4)</p> | <p>滝沢市の道路は、国道4号、国道46号、国道282号を始め、主要地方道盛岡環状線、一般県道盛岡滝沢線、一般県道鶴飼滝沢線など国道3路線、県道7路線が走っています。このほか、東北縦貫自動車道滝沢インターチェンジや滝沢分レなど道路の要所が存在しています。</p> <p>この中でも、市内道路網の最も重要な主要地方道盛岡環状線の国道46号・滝沢分レ間は、盛岡市の市街地を避け青森、鹿角方面から滝沢分レを経由し、国道46号を秋田方面や北陸を経由し関西へ相互に連絡する大型車が多く、生活道路として、また物流にとっても重要な区間となっています。</p> <p>現在、日交通量約2万台の車両が行き交い、大型車の混入率が20%を超え、県内における大型車混入率が最も高い区間の一つになっています。このような状況にあつて、旧規格の狭い道路幅員では交通安全上、非常に危険な状況であり、児童生徒や高齢者の交通安全の確保が危惧されています。</p> <p>このことから、交通量調査などを実施し現状把握に努め、ミニバイパスなど斬新かつ具体的な構想の確立と整備の方向性を示していただきたいと考えています。</p> <p>また、岩手山火山災害を想定した場合など、日常的に混雑している区間については緊急避難路としての機能が発揮されることが期待できないことから早急な改善が必要です。</p> <p>さらに、県都の玄関口として、滝沢市内の国県道の整備は、県北地域の住民にとっても重要な課題となっていることから、主要地方道盛岡環状線や国道4号バイパスの渋滞緩和に繋がる、盛岡西廻り北バイパスの計画の具体化に向けた検討が必要であると考えています。</p> <p>以上のことを踏まえ、次のとおり要望します。</p> <p>4 盛岡西廻り北バイパスの計画について検討されたい。 <要望箇所> (1) 国道46号～滝沢分レ間</p> | <p>県では、平成26年度に盛岡広域都市圏道路網基本計画を策定し、盛岡西廻りバイパスを含めた幹線道路の配置方針を定めたところです。</p> <p>盛岡西廻り北バイパスの計画については、この計画の中で圏域骨格道路に位置付けられていますが、計画の具体化については国及び関係市の協力を得ながら検討していきます。</p> | <p>盛岡広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>B</p> |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|------------------------------------|--|--|--------------------------|------------------------|----------|
| <p>岩手県立大学 周辺の 産業集積について</p> | <p>岩手県立大学（以下「県立大学」という。）は、実学実践の教育が産業界に大きく評価され、大学との共同研究や学生との交流等を求める企業の声が県内のみならず、全国から聞こえてきています。</p> <p>県立大学立地の強みを産業振興に繋げるため、岩手県では、平成18年の『産業成長戦略』及び平成20年の『いわて希望創造プラン地域編』において、盛岡広域地域へのIT関連産業の集積を目指し、その重点として県立大学周辺への産業集積を掲げています。</p> <p>また、平成21年3月には、岩手県、県立大学及び滝沢市の3者による『滝沢市IPUイノベーションパーク整備計画』を策定しました。この計画では、岩手県の役割を、「産学連携の推進により県内IT産業等の振興に取り組む主体として、企業誘致、IT関連企業の技術者育成、技術高度化への支援、県内企業とのアライアンスを行うこと」としています。</p> <p>本市においても、県立大学周辺への産業集積を重点政策とし、その第一歩として、平成21年5月に滝沢市IPUイノベーションセンターを建設し、その後、県立大学地域連携棟東側の約3ヘクタールの土地を造成し、平成24年度から分譲を開始しました。これにより、県立大学との共同研究、地元企業や学生などを中心とした交流事業、滝沢市をフィールド活用した実証実験などの取組が活発になり、これらの活動に賛同した企業が、滝沢市IPUイノベーションセンターに集積し、満室の状態となっています。平成26年5月には、更に滝沢市IPU第2イノベーションセンターを開所しており、現在20社の企業が入居しています。</p> | <p>1 企業誘致につきましては、企業立地促進法の基本計画で、「組込みソフトとIT・システム関連産業」を盛岡広域地域の集積業種として指定し、地域の強みを生かした産業集積に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>また、今後、滝沢市IPUイノベーションセンターの入居企業等を中心に業務拡大等による二次展開が考えられることから、引き続き、県内外企業間の連携の可能性も視野に入れながら、企業誘致を進めていきます。</p> <p>今後とも、企業ニーズを踏まえた効果的な支援のあり方について、貴市の強みを生かせるよう緊密な情報交換、連携を図りながら、引き続き検討していきます。</p> <p>2 人材育成につきましては、県としても重要な課題と捉え、人材育成に関する企業ニーズの聞き取りを目的とした企業訪問を実施して参ります。</p> <p>また、岩手県立大学との連携により、いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター等を拠点として、ソフトウェアとハードウェアの両方が分かる人材等の高度技術者の養成に取り組むとともに、盛岡広域地域産業活性化協議会としてIT技術者の養成事業を実施します。</p> <p>3 開発機器等の環境整備に対しては、企業訪問を通じてニーズを把握するとともに、貴市や岩手県立大学等と連携し、開発等を含む企業活動を支援していきます。</p> | <p>盛岡 広域 振興局</p> | <p>経営 企画 部</p> | <p>C</p> |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|------|---|----------|------|-------|------|
| | <p>県立大学周辺エリアを県内最大規模のIT関連産業の集積地域・開発の拠点とするため、更なる企業誘致と現在立地している企業への開発等の支援の強化を図り、第2イノベーションセンターに続く施設及び開発環境の整備並びに人材育成が必要であり、岩手県の強いリーダーシップのもと、県立大学、滝沢市との連携による対応が必要不可欠と考えています。</p> <p>盛岡市を連携中枢都市とした新たな広域連携の取組では、圏域全体の経済成長や都市機能の集積・強化などが挙げられています。県立大学周辺エリアに岩手県を代表するICT技術に関する高度な産業拠点の整備を促し、県民所得の向上、雇用環境の創出、人口流出の歯止めという重点目標を達成するため、次のとおり要望します。</p> <p>[要望事項]</p> <p>1 滝沢市IPUイノベーションパーク及びセンターへの企業誘致について、率先した誘致活動や企業立地を促進するための補助金等の優遇措置制度を構築されたい。</p> <p>2 企業誘致及び立地企業の更なる成長のためには、人材の育成は不可欠であり、産学官連携によるIT関連企業の高度技術者育成に加え、立地企業からも人材確保に関するニーズがあることから、即戦力の高い人材育成及びUIターン等の人材発掘のため、県の予算を確保されたい。</p> <p>3 『滝沢市IPUイノベーションパーク整備計画』に基づき、更なる企業集積のため、開発機器等の環境整備が必要になるものと考えことから、県の予算を確保されたい。</p> | | | | |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|-------------------------------------|---|---|----------------|------------|----------|
| <p>(仮称)滝沢南スマートインターチェンジの整備促進について</p> | <p>岩手県は、本州一面積の広い県であり、本市を始め、岩手県を縦断している東北縦貫自動車道は、岩手県の重要な大動脈として利用されており、東日本大震災による復旧、復興のための物流支援や人的移動においても極めて重要な役割を担っています。</p> <p>この高速道路を有効活用・機能強化することは、広い県土において、住民の生活対策等に直結するものであり、東北縦貫自動車道へのスマートインターチェンジの整備は、広域的にも地域住民の移動手段を確保し、利便性の向上や地域振興に大きく寄与するものです。</p> <p>以上のことを踏まえ、次のとおり要望します。</p> <p>[要望事項]</p> <p>交通分散による渋滞緩和やI Cアクセス時間の改善による利便性の向上、産業支援・強化に向けた地域経済活動の基盤づくり、救急搬送時間の短縮による救急医療支援等の整備効果が期待される(仮称)滝沢南スマートインターチェンジについては、平成25年6月に連結許可を受け、平成31年3月の完成を目指し事業を進めています。</p> <p>しかしながら、平成27年度の社会資本整備総合交付金における国費配分は、近年稀な低い内示率であり、その影響は多岐に及ぶことから、円滑な整備促進が図られるよう、関係予算の確保について特段のご配慮とご支援をいただきたい。</p> | <p>(仮称)滝沢南スマートインターチェンジについては、既存の高速道路の利便性を高め、県民の安全で安心な暮らしを守り、活力ある地域社会の形成を図るために必要不可欠なものであることから、必要な予算を確保するよう国に要望しています。今後も貴市と連携を図りながら、整備推進が図られるよう国に対し要望していきます。</p> | <p>盛岡広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>B</p> |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|-------------------------|---|--|----------------|--------------|----------|
| <p>交番・駐在所の新設・移設について</p> | <p>住民の安全安心を守る治安維持は住民の願いであるとともに、自治体の最も基本的な責務の一つであります。</p> <p>盛岡西警察署の管轄区域内となっている滝沢市には、現在交番が2か所、駐在所が2か所それぞれ設置されています。</p> <p>交番・駐在所の位置的変動が最後に行われた昭和60年の盛岡警察署滝沢駐在所（現盛岡西警察署滝沢交番）移転から既に30年が経過しており、その間、当時約3万2千人であった本市の人口は、現在5万5千人を超えています。</p> <p>また、道路整備や団地開発等に伴い、従前と比べ情勢の変動が大きく、交番及び駐在所の配置箇所を現状に即した場所へ変更することが最重要課題の一つとなっていることから、特段のご配慮をいただきたく強く要望します。</p> <p>[要望事項]</p> <p>1 現在巣子地内に所在している盛岡西警察署滝沢交番のI G Rいわて銀河鉄道滝沢駅又は巣子駅周辺等交通の要所への移設。</p> <p>2 現在大規模開発が進行中であり、著しい人口増加が見込まれる牧野林地区又は現に人口が集中している土沢地区等への交番の新設。</p> <p>3 現在国道46号沿いに所在している大釜駐在所のJ R田沢湖線大釜駅付近への移設。</p> | <p>交番・駐在所の新設や移設については、昼夜の人口、世帯数、面積、行政区画及び事件又は事故の発生の状況等の治安情勢を総合的に勘案しながら、全県的視点に立って検討を進めています。</p> <p>今回の御要望についても、このような視点に立ちながら、要望の趣旨を深く認識し、引き続き検討していきます。</p> | <p>盛岡広域振興局</p> | <p>経営企画部</p> | <p>C</p> |

滝沢市

| 要望項目 | 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|---------------------|--|---|---------|-------|------|
| 一級河川木賊川の河川整備の促進について | <p>本市と盛岡市を流れる木賊川は、河川断面が狭小で部分的に天井川となっており、過去度々浸水被害を受け、平成14年7月の台風6号の豪雨では、越水により1,253世帯に避難勧告が発令され、床上及び床下浸水が115戸に及ぶなど甚大な被害がありました。</p> <p>現在、県で取り組んでいる河川防災工事の一部が完成したことにより、住民が実感できる防災対策が進捗しているものと心より感謝申し上げます。</p> <p>地域住民は、一日でも早く、より安全で安心できる暮らしを望んでいることから、遊水地計画及び河道改修計画の一層の促進を要望します。</p> | <p>木賊川の河川改修については、「遊水地＋分水路＋河道改修」の手法を治水対策の基本として段階的な整備により事業を進めており、平成23年5月には分水路への通水を開始するなど治水安全度を高めたところです。</p> <p>平成26年度は、滝沢市をはじめ、関係機関のご協力のもと「木賊川遊水地利活用を考える会」を設置し、取得済みの土地の管理及び整備後の利活用や管理のあり方について検討を行いました。</p> <p>平成27年度は、遊水地予定地の用地取得を進めるとともに、遊水地の工事着手を予定しています。</p> | 盛岡広域振興局 | 土木部 | B |
| 松くい虫対策について | <p>被害が急速に拡大している松くい虫被害は、平成25年6月に本市で初めて確認され、県当局の迅速な対応とご指導により処理を実施しています。</p> <p>本市が有するアカマツ林は、958ヘクタールで、民有林全体の18%を占める貴重な森林資源となっています。また、古くから市内に存し、美しい景観を作り出すとともに、水源かん養・土砂流出防備・防風などの機能を持つ、後世に引き継いでいかなければならない貴重な財産です。</p> <p>しかし、ここ数年の松くい虫被害の状況から鑑みると、本市においても被害拡大が懸念される状況です。本市といたしましては、岩手県の木「ナンブアカマツ」を保護するため、情報収集に力を入れ、被害木の早期発見に努め、被害域の拡大阻止に全力で取り組んでまいります。</p> <p>県においても、引き続き、県予算の確保と被害木の早期発見にご尽力くださいますよう要望します。</p> | <p>県の松くい虫被害対策では、公益性の高い重要なアカマツ林の保全を図るとともに、未被害地域への被害拡大を阻止するため、「松くい虫被害防除監視帯」を設置し、航空写真の撮影及び松くい虫被害防除監視員等による巡視活動を通じ早期発見・早期駆除に努めています。</p> <p>また、アカマツ林は、木材資源としてのみならず、林地保全・水源かん養・景観の面からも貴重な資源であることから、引き続き事業予算の確保について努力してまいります。</p> <p>特に、貴市を含めた被害先端市町村においては、「知事の命令に係る森林病虫害駆除事業委託事業」を創設し、これまでの防除事業に加えて、全量駆除を徹底し、被害の終息を目指して取り組みます。</p> | 盛岡広域振興局 | 林務部 | A |